

建設産業委員会

■今定例会の審査結果

今定例会では当初予算及び補正予算を含む議案15件と陳情3件について担当課より詳細な説明と意見を求め慎重に審査しました。

審査の結果、議案15件については可決、陳情3件については採択、また「T P P（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書」「新たな米政策に関する意見書」の2件の意見書を提出しました。

東山いこいの森管理について

平成25年度3月補正では、木材の特性が発揮され公共性の高い施設への補助事業である「森林整備加速化・林業再生事業」を活用して、東山いこいの森に五右衛門風呂と屋根付き広場の新設が提示されました。増額予算は1,790万8千円（国663万5千円、地方債720万円・一般財源407万3千円）で整備するといった内容であったが、委員からは、「バンガロー・テニスコート・ミニグラウンド等、他の施設は今後どうするのか。」「整備に伴う財源や維持管理、ニーズの動向など、しっかりと調査検討する必要がある。」また、「今後、人口減少が進んでいく当市においてどう維持していくのか」等の意見が出されました。

理事者からは、今後、東山いこい

の森の施設整備や利用計画などの全体計画を策定し、議会と協議をしていくとの答弁がありました。



東山いこいの森

勝山温泉センター水芭蕉における露天風呂の計画について

今定例会において、水芭蕉における露天風呂の基本計画の報告がありました。

理事者からは、県内の温泉施設の中では、水芭蕉を含めた2施設だけが露天風呂を設置していない。

アンケータ結果では利用者のニーズもあり、観光客へのサービ



勝山温泉センター「水芭蕉」

ス向上策の一つとして他施設と競合し利用客の増を図りたい。また平成28年4月の指定管理者の更新に合わせた利用料金、指定管理料、修繕費のあり方を見直すことを前提に露天風呂を建設する方向で今後検討したいとの説明がありました。

委員からは、27年度に完成する旧地場産センター内の入浴施設の影響や、修繕計画に基づく工事費用・計画の在り方、料金体系等の検討を求める意見があり、今後も検討していくことになりました。

かつやま恐竜の森の渋滞対策について

長尾山総合公園の来園者は年々増加しており、平成25年度は70万人を超えています。平成26年7月に恐竜化石発掘現場に野外恐竜博物館ができること、

さらに来園者は増えることが予想されるため、理事者より駐車場増設等の説明がありました。

委員からは「公



恐竜博物館前での渋滞

園施設の長寿命化計画も含め、今後は財源確保のため収益を得ることも必要。たとえば駐車料金を支払ってもお得感の持てる体制を考えるべき」などの意見がだされました。理事者からは駐車料金を徴収して整備費用の一部にあてることも検討していきたいとの答弁がありました。

勝山市勤労婦人センターの生涯学習施設への移行について

勤労婦人センターについては、市民及び利用者から「市民大学と勤労婦人センターの講座が類似しており分かりにくい」「名称に婦人と付いており男性は利用しにくい」といった意見があり、講座内容の充実と市民が参加しやすい仕組みを図る必要性がありました。また厚生労働省所管の補助金等を受けて建設されたが、他の目的で使用することについて条件が緩和されたこともあり、勤労婦人センターを生涯学習施設への移行を検討するに至ったとのこと。

理事者からは、平成27年度より勤労婦人センターの事業全般を市民大学等に移行し生涯学習事業として位置付け、施設を「生涯学習の場」として活用する予定との説明がありました。

委員からは、市民が分かりやすく利用しやすい工夫を行うよう意見が出されました。